



LGBTの人が当事者であることを認め、それを自らの意思で他者に伝えることを『カミングアウト』といいます。これは、周りからの差別や偏見により、自分の居場所を失うかも知れないという不安などを伴うため、とても勇気がいることです。カミングアウトは、あなたを信頼しているというメッセージです。

LGBTの人たちからカミングアウトを受けたら、次のようなことに気を付けながら、真摯にその人と向き合いましょう。



『カミングアウトを受けたときに気を付けること』



- 話を最後まで聞いて、「話してくれてありがとう」などと伝えてください。
- 「あなたの味方だよ」「一緒に考えていこう」など、支える姿勢を伝えてください。
- これまで打ち明けた範囲を確認するとともに、誰に伝えていいのか悪いのか、念のため確認してください。
- 戸惑ったときは、素直な気持ちを伝え、どうすればいいのかを直接本人に聞いてください。
- カミングアウトを抱えきれないときは、専門家や相談員、LGBT支援団体などに相談してください。

本人の許可なしに決してほかの人に話さないようにしましょう。

